



全国公立学校教頭会通信 第20号

きずな

令和6年度第2回全国研究部長会

発行 令和6年12月24日

全国公立学校教頭会 広報部

電話： 03-3436-4868

Mail： zenkokyo@kyotokai.jp

HP： <https://kyotokai.jp>

令和6年12月6日（金）、令和6年度全国公立学校教頭会第2回研究部長会を開催（ハイブリッド開催）しました。その概要をお伝えいたします。

1 期 日 令和6年12月6日（金） 10：30～16：00

2 会 場 都市センターホテル又は各自接続可能な場所

3 出席者 各単位教頭会・副校長会研究部長 55名 全公関係 22名 合計 77名

- ・北海道ブロック7名 ・東北ブロック6名 ・関東甲信越ブロック11名 ・東海北陸ブロック7名
- ・近畿ブロック7名 ・中国ブロック4名 ・四国ブロック4名 ・九州ブロック9名

4 内 容

(1)開会式・全体会 10：30～11：50 司会（全公教・支倉研究部員）

- ①開会の言葉（全公教・稲積副会長） ②会長挨拶（全公教・松野会長）
- ③第66回高知大会の成果と課題（高知県・青木研究部長）
- ④ブロック大会の成果と課題（各ブロック）
 - ・北海道ブロック（北海道・三浦研究部長） ・東北ブロック（宮城県・新藤大会事務局長）
 - ・関東甲信越ブロック（山梨県・成瀬研究部長） ・東海・北陸ブロック（三重県・山元研究部長）
 - ・近畿ブロック（京都府・阪本研究部長） ・中国ブロック（山口県・小松研究部長）
 - ・九州ブロック（宮崎県・三輪研究部長）
- ⑤第67回茨城大会について
 - ・研究主題及び日程、内容について（茨城県・稲生研究部長）
 - ・参加要請数及び特別分科会Ⅰについて（全公教・畠中研究部長）
- ⑥中央研修大会について（全公教・池原研究部員）
- 昼食、休憩 11：50～13：00

(2)講演 13：00～14：20

講師紹介（全公教・畠中研究部長）

講演：「働きやすさ」と「働きがい」の両立を目指す副校長・教頭としての組織マネジメントの在り方

講師：愛媛大学大学院 教授 露口 健司 氏

【主な講演内容】

- 教職の幸福論（専門職性、労働者性、聖職者性のいずれの特性も、教師が豊かで幸せな人生を送る上で重要）
- 「働きやすさ」と「働きがい」
- 「働きやすさ改革」と「働きがい改革」
- 学校版 GPTW (Great Place to Work) 理論（ロバート・レベリングの働きがい理論）（働きがいある学校：教職員が勤務している学校や管理職を信頼し、自分が行っている仕事に誇りを持ち、一緒に働いている仲間と連帯感が持てる学校）



- 働き方改革の成果指標（主観的幸福感、ワークエンゲージメント、メンタルヘルス）
- 主要変数の分布 ○信頼関係×主観的幸福感 ○働き方改革＝組織開発
- 「働きがい改革」業務改善研修の進め方 ○業務改善フォローアップ研修例
- 分散型リーダーシップの視点に立つ教頭の職務構造改革

謝辞（全公教・三木副会長）

※休憩 14:27~14:35

(3) 研究協議 14:35 ~ 15:50

①グループ協議 14:35 ~ 15:15

※研究部が全体司会を担当し、記録者を決めてから協議を行いました。

視点:「働きやすさ」と「働きがい」の両立を目指す副校長・教頭としての組織マネジメントの在り方」



②協議内容発表 (参集2+オンライン2 計4G 各5分) 15:20~15:40



- ◆Cグループ 連帯感の醸成、若手育成の面について
- ◆Dグループ コミュニケーションについて、人員不足を補う視点について
- ◆Fグループ 部活動について、業務改善について、若手教員の育成について、校務分掌について
- ◆Iグループ コミュニケーションについて、主幹教諭について

③露口先生によるご指導・ご助言 15:40~15:50



(4) 閉会式 15:50~16:00

①終わりの言葉 (全公教・中嶋副会長)

②事務連絡等・第2回全国研究部長会の振り返りシートの記入 (Google アンケート)